

岡山県感染症週報 2014 年 第 20 週 (5 月 12 日～5 月 18 日)

◎岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です。

◆2014 年 第 20 週 (5/12～5/18) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 第 18 週 2 類感染症 結核 6 名
(10 代 女 1 名、40 代 男 2 名、60 代 男 1 名、70 代 女 1 名、80 代 女 1 名)
- 第 19 週 2 類感染症 結核 3 名 (20 代 女 1 名、50 代 女 1 名、80 代 男 1 名)
3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 名 (O91: 20 代 女)
5 類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1 名 (60 代 女)
- 第 20 週 2 類感染症 結核 3 名 (20 代 女 1 名、40 代 女 1 名、70 代 男 1 名)
3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 名 (O157: 幼児 男)
4 類感染症 レジオネラ症 1 名 (80 代 男)
5 類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1 名 (60 代 女)

■定点把握感染症発生状況

- インフルエンザは、県全体で 129 名 (定点あたり 1.82 → 1.54 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。
- 感染性胃腸炎は、県全体で 635 名 (定点あたり 11.54 → 11.76 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。

【第 21 週 速報】

- 井原市内の中学校 1 校で、インフルエンザとみられる臨時休業がありました。(5 月 22 日)
- 感染性胃腸炎による学校等の臨時休業が 2 施設でありました。(5 月 22 日)
- 腸管出血性大腸菌感染症 2 名 (O157: 60 代 男 1 名・女 1 名) の発生がありました。

(5 月 21 日～22 日)

1. **インフルエンザ**は、県全体で 129 名 (定点あたり 1.82 → 1.54 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。地域別では、備北地域 (3.17 人)、備中地域 (3.08 人)、真庭地域 (2.67 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。インフルエンザによる入院患者は、1 名の報告がありました。インフルエンザとみられる学校等の臨時休業は 10 施設でありました。県内の発生状況など詳しくは、[「インフルエンザ情報」](#)をご覧ください。全国の第 19 週の発生状況を見ると、定点あたり 1.09 人であり、第 17 週以降、3 週連続で減少しました。
2. **感染性胃腸炎**は、県全体で 635 名 (定点あたり 11.54 → 11.76 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。この時期としては、患者数が多い状態がつづいており、倉敷市では前週同様、発生レベル 3 となっています。第 21 週では、感染性胃腸炎による臨時休業が 2 施設で報告されています。ひきつづき手洗いの徹底や下痢便・嘔吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。県内の発生状況など詳しくは [「感染性胃腸炎情報」](#) をご覧ください。
3. **腸管出血性大腸菌感染症**は、2 名の報告がありました。すでに第 21 週でも 2 名報告されています。例年、5 月頃から報告数が徐々に増加する傾向があります。肉の生食は避け、中心部まで十分に火を通す、調理時は手指をこまめに洗うなど、通常の食中毒対策を励行し、感染予防に努めましょう。
4. **麻しん**は、岡山県では第 12 週以降の報告はありませんが、全国で依然発生がつづいています。有効な予防方法は、予防接種を受け、あらかじめ免疫を獲得しておくことです。これから海外の麻しんが流行している地域へ渡航される方は、母子手帳などで予防接種歴を確認の上、予防接種されることをご検討ください。また、国内外の麻しん発生地域に出かけ、その後、発熱、鼻水など風邪のような症状が出た場合は、麻しんの可能性もありますので早めに医療機関を受診してください。

麻しん・風しんの予防接種を受けましょう

定期予防接種の対象となる方はぜひ予防接種を受けましょう。

麻しん・風しんの定期予防接種の期間は、生後 12～24 ヶ月及び小学校入学前の 1 年間 (4 月 1 日～3 月 31 日) となっています。対象期間中であれば無料でワクチンを接種することができますので、定期予防接種の対象者の方は、**できるだけ対象となってから初めの 3 ヶ月の間に接種しましょう**。定期予防接種では、麻しん・風しんの混合ワクチン (MR ワクチン) として接種します。詳しくは、お住まいの市町村の予防接種担当課へお問い合わせください。

また、予防接種歴が不明又は未接種の場合は予防接種を受けることをご検討下さい。

[おかやま医療情報ネット](#)から、予防接種を実施している医療機関を検索することができます。ワクチンの在庫及び、予防接種の予約等については、各医療機関にお問い合わせください。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↘	★	RSウイルス感染症	↗	★
咽頭結膜熱	↗	★★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	★★
感染性胃腸炎	↗	★★★★★	水痘	↘	★
手足口病	↗	★	伝染性紅斑	↘	
突発性発疹	↗	★★	百日咳	↗	
ヘルパンギーナ	↘	★	流行性耳下腺炎	↗	★
急性出血性結膜炎	↘		流行性角結膜炎	↗	★
細菌性髄膜炎	↗		無菌性髄膜炎	↗	
マイコプラズマ肺炎	↘		クラミジア肺炎	↗	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↘				

【記号の説明】 前週からの推移: ↓ : 2倍以上の減少 ↘ : 1.1~2倍未満の減少 ↗ : 1.1未満の増減
 ↗ : 1.1~2倍未満の増加 ↑ : 2倍以上の増加

発生状況: 空白:発生なし ★: 僅か ★★: 少し ★★★: やや多い ★★★★: 多い ★★★★★: 非常に多い
 今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。

感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、平成25年第42週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。

【医療機関の方へのお知らせ】

医師及び指定届出機関の管理者が都道府県知事に届け出る基準の一部が改正されました。(平成26年4月28日)

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について」の別紙「医師及び指定届出機関の管理者が都道府県知事に届け出る基準」が改正されました。
 この改正については、平成26年5月12日から施行されます。

改正の概要

二類感染症
<ul style="list-style-type: none"> ジフテリアの定義および届出基準、届出様式の変更 急性灰白髄炎の届出様式の変更
四類感染症
<ul style="list-style-type: none"> A型肝炎の届出様式の変更
五類感染症
<ul style="list-style-type: none"> 侵襲性インフルエンザ菌感染症の検査方法、届出様式の変更 先天性風しん症候群の届出様式の変更 梅毒の届出基準、届出様式の変更 風しんの届出方法(可能な限り24時間以内に、保健所への報告を求める旨を記載追加)、届出様式の変更 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)の検査方法の変更 マイコプラズマ肺炎の検査方法、報告様式の変更 ウイルス性肝炎(E型肝炎およびA型肝炎を除く)の届出様式の変更 破傷風の届出様式の変更

[○別添新旧対照表](#)

[○医師及び指定届出機関の管理者が都道府県知事に届け出る基準](#)

[○届出様式\(全数把握感染症\)](#)

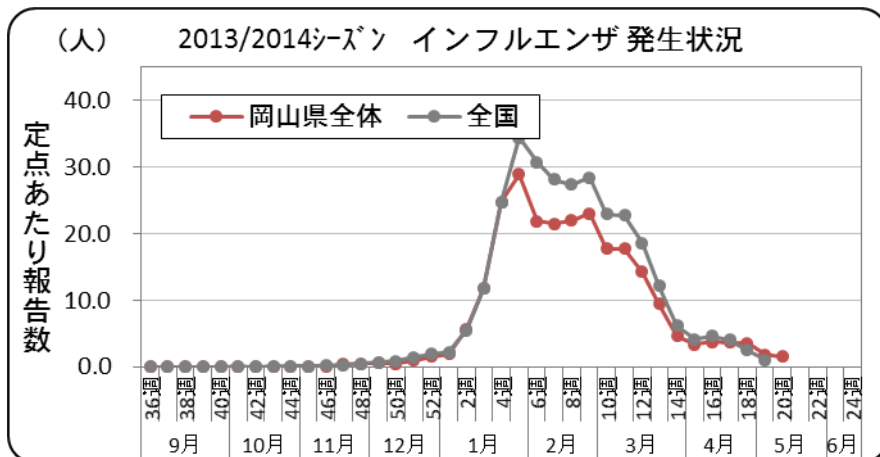
[○届出様式\(定点把握感染症\)](#)

2. 地域別発生状況

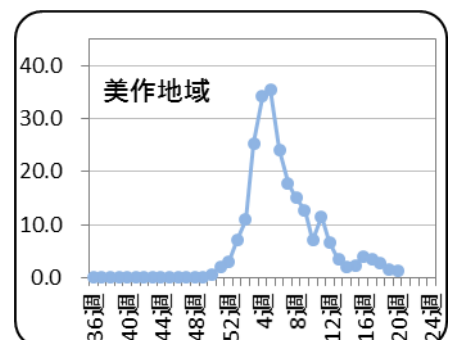
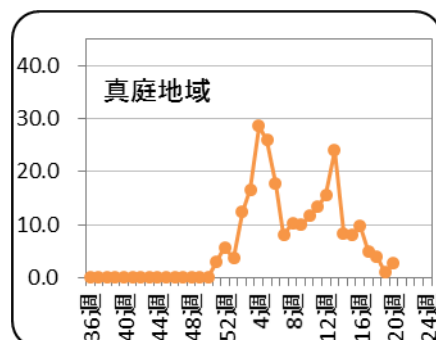
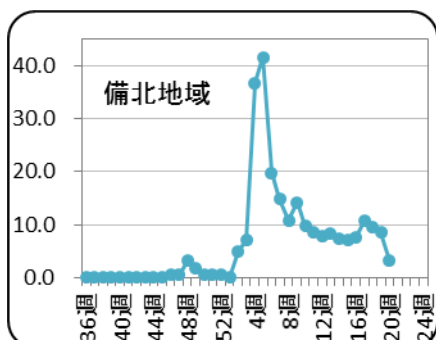
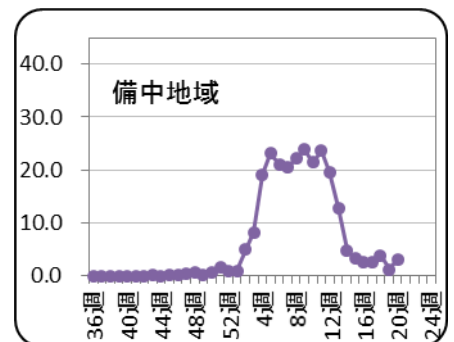
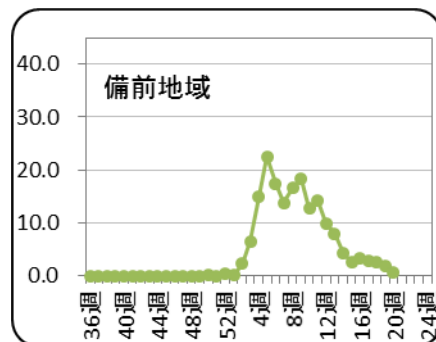
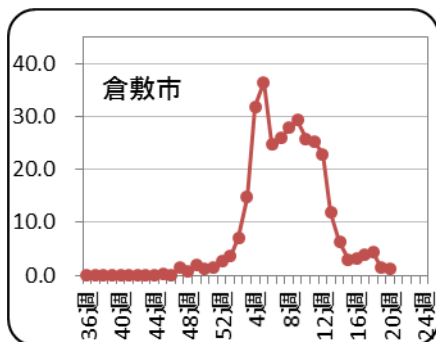
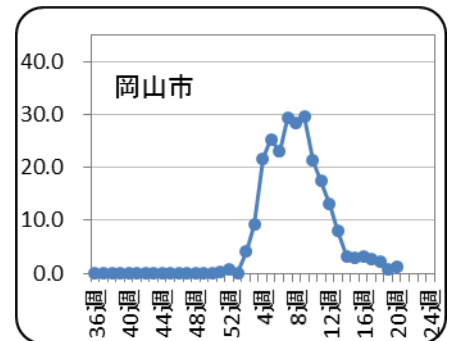
前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	129	↘	備 中	患者数	37	↗
	定点あたり	1.54			定点あたり	3.08	
岡山市	患者数	26	↗	備 北	患者数	19	↘
	定点あたり	1.18			定点あたり	3.17	
倉敷市	患者数	18	↘	真 庭	患者数	8	↗
	定点あたり	1.13			定点あたり	2.67	
備 前	患者数	8	↘	美 作	患者数	13	↘
	定点あたり	0.53			定点あたり	1.30	

【記号の説明】 前週からの推移： 2倍以上の減少 ↓ 1.1～2倍未満の減少 ↘ 1.1未満の増減 →
1.1～2倍未満の増加 ↗ 2倍以上の増加 ↑



全国集計第19週(5/5～5/11)速報値によると、全国では定点あたり1.09人であり、第17週以降、3週連続で減少しました。地域別では、沖縄県(8.55人)、岩手県(3.73人)、福島県(3.26人)の順で定点あたり報告数が多くなっており、全都道府県で前週より減少しています。



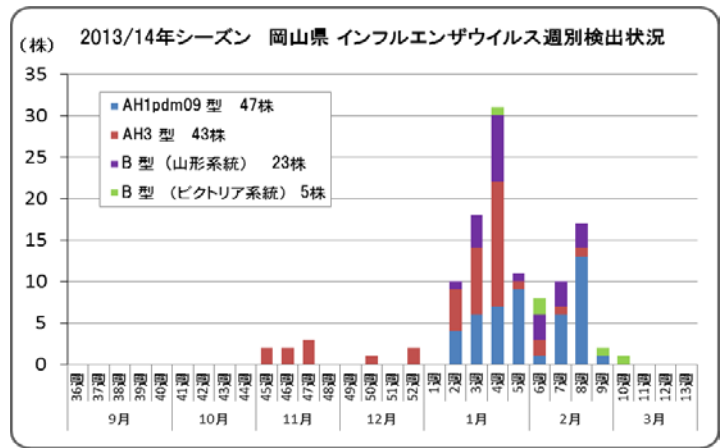
3. インフルエンザウイルス検出状況

第20週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、ありませんでした。今シーズンで、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09型が47株(40%)、AH3型が43株(36%)、B型が28株(24%)となっています。

[\(岡山県 インフルエンザウイルス分離・検出状況\)](#)

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09型44%、B型35%、AH3型22%の順に多く検出されています。しかし、最近5週間(15週～19週)の検出割合では、B型、AH1pdm09型の順となっています。(平成26年5月22日現在)

[\(インフルエンザウイルス分離・検出速報\(国立感染症研究所\)\)](#)

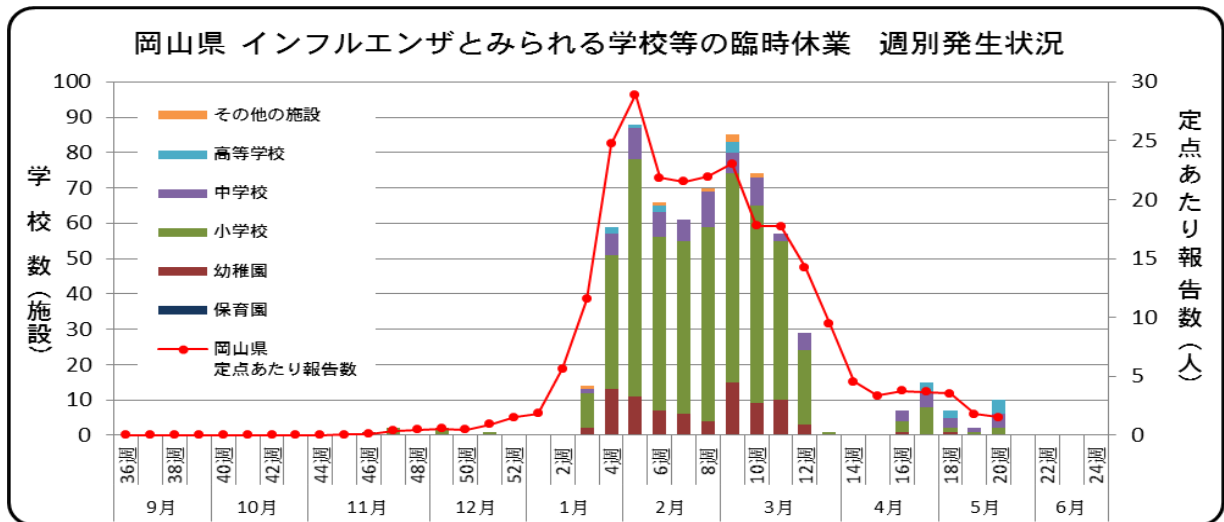


4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザとみられる学校等の臨時休業は10施設でありました。

【第20週 臨時休業施設数】

▽岡山市 2 ▽笠岡市 4 ▽津山市 1 ▽新見市 1 ▽真庭市 1 ▽美作市 1



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	128	9491	81	7183	10	651	1	18	2	180	7	453	H25.11.13
岡山市	34	3874	20	2811	2	233	0	3	0	35	2	195	H26.1.14
倉敷市	0	1621	0	1289	0	117	0	1	0	22	0	94	H25.11.18
備前地域	0	766	0	623	0	69	0	1	0	35	0	33	H26.1.16
備中地域	58	1322	32	1023	4	98	0	0	0	24	4	74	H25.11.13
備北地域	16	347	12	223	1	20	1	6	0	9	0	5	H26.1.23
真庭地域	3	160	3	127	1	17	0	0	1	12	0	5	H26.1.27
美作地域	17	1401	14	1087	2	97	0	7	1	43	1	47	H25.12.20

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2) 臨時休業施設数の内訳

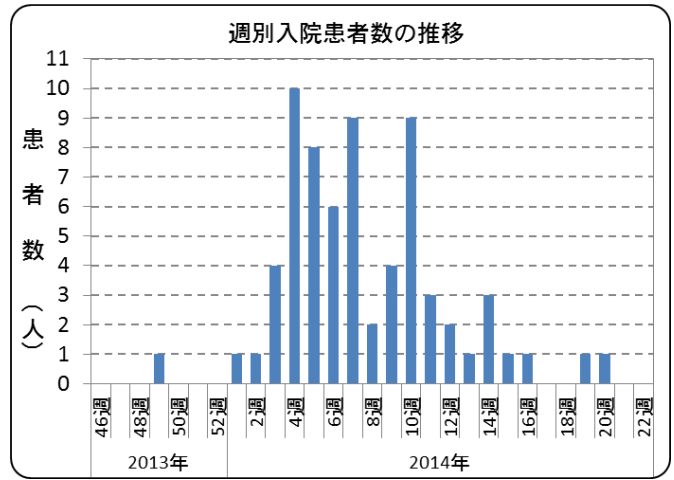
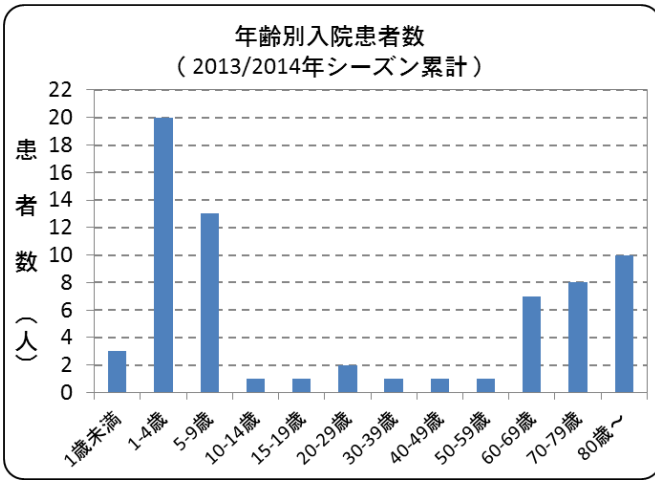
第20週：10施設 累計：651施設

施設数	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	0	83	2	470	4	75	4	17	0	6

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、1 名（80 歳以上）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【第 19 週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数												1	1
ICU 入室													
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査(予定含)													
頭部 MRI 検査(予定含)													
脳波検査(予定含)													
いずれにも該当せず												1	1

* 重複あり

【平成 25 年 9 月 2 日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	3	20	13	1	1	2	1	1	1	7	8	10	68
ICU 入室		1							1				2
人工呼吸器の利用		1									2		3
頭部 CT 検査(予定含)		3	1						1		1		6
頭部 MRI 検査(予定含)	1	2	2						1		1	1	8
脳波検査(予定含)	1	2	2										5
いずれにも該当せず	2	16	10	1	1	2	1	1		7	5	9	55

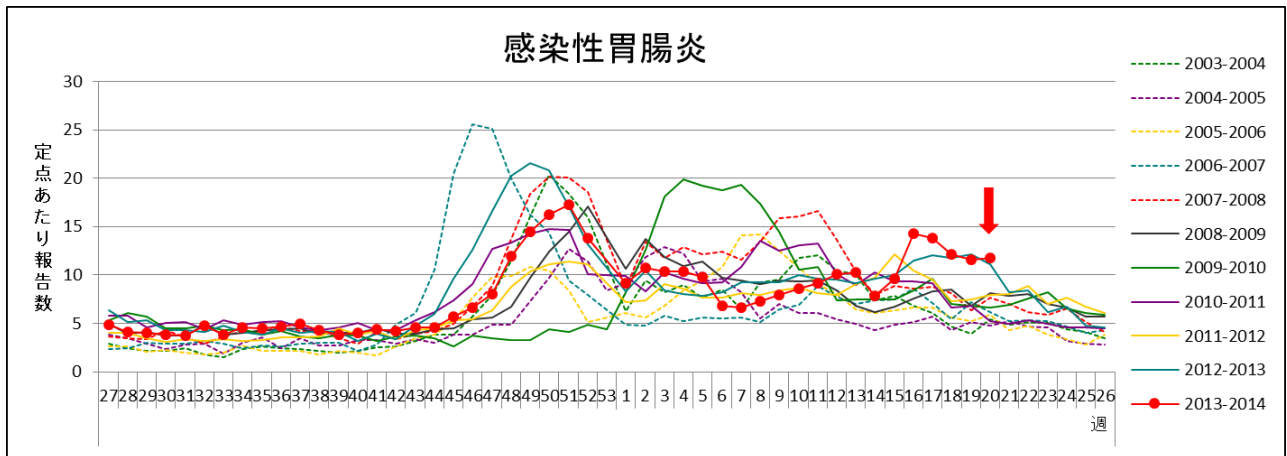
* 重複あり

感染性胃腸炎情報 2014 年 第 20 週 (5 月 12 日 ~ 5 月 18 日)

○感染性胃腸炎は、県全体で 635 名（定点あたり 11.54 → 11.76 人）の発生がありました（54 定点医療機関報告）。

【第 21 週 速報】

○感染性胃腸炎による学校等の臨時休業が 2 施設でありました。（5 月 22 日）

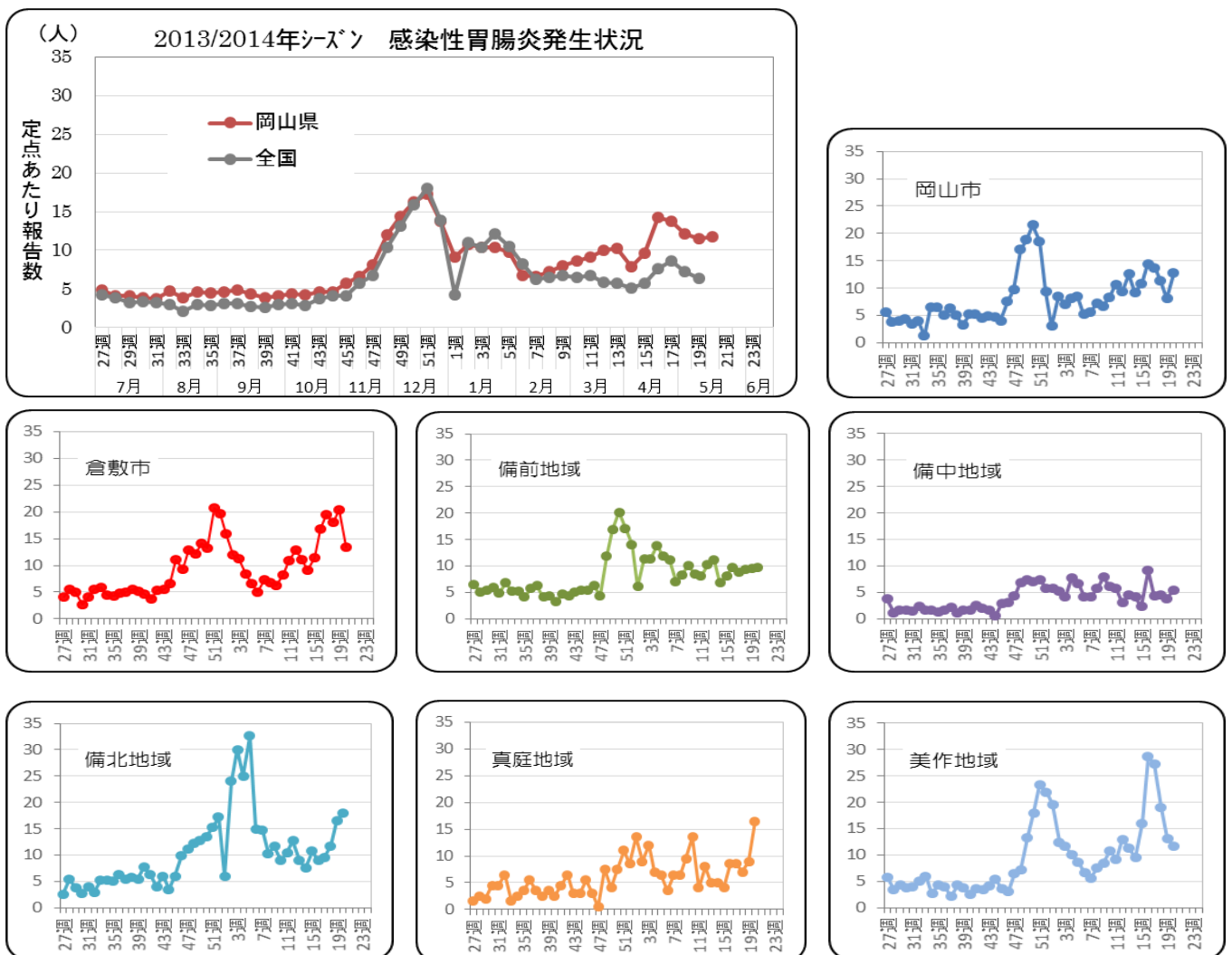


※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27 週～翌年 26 週でグラフを作成しています。

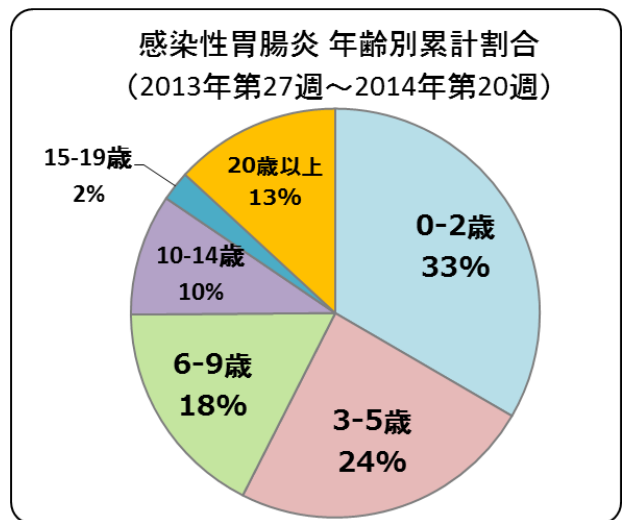
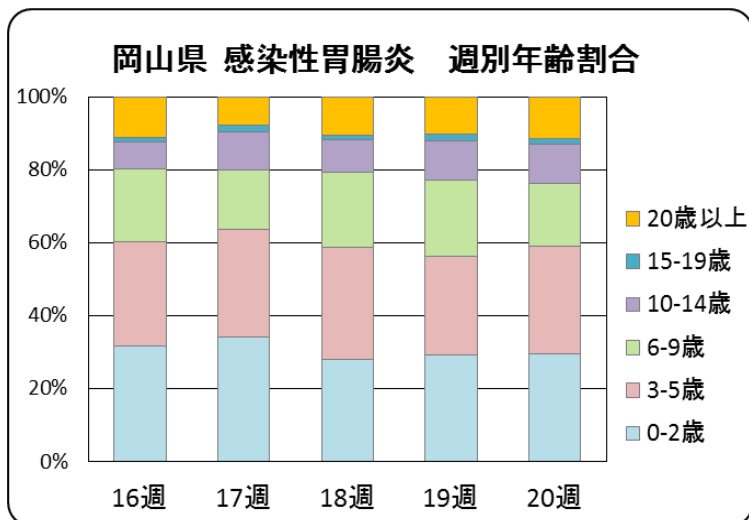
感染性胃腸炎は、県全体で 635 名（定点あたり 11.54 → 11.76 人）の発生があり、前週とほぼ同数でした。この時期としては、患者数が多い状態がつづいています。全国集計第 19 週速報値によると、岡山県の定点あたり患者数（11.54 人）は、愛媛県（13.27 人）、宮崎県（12.64 人）、大分県（12.25 人）に次いで、全国で 4 番目に多くなっています。冬～春にかけての感染性胃腸炎の原因はノロウイルスやロタウイルス等のウイルスによるものが多く、幅広い年齢層での発生がみられます。学校や福祉施設、病院などでは、手洗いの徹底や下痢便・嘔吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。

[○ノロウイルスに関する Q&A \(厚生労働省\)](#)

[○ロタウイルスに関する Q&A \(厚生労働省\)](#)



◆地域別・年齢別発生状況



地域別では、備北地域（18.00人）、真庭地域（16.50人）、倉敷市（13.36人）の順で定点あたり報告数が多くなりました。岡山市、備中、備北及び真庭地域で増加がみられました。倉敷市では、前週にひきつづき発生レベル3となっています。年齢別累計割合では、0-2歳の年齢層が全体の33%を占めています。

例年3～5月には、0-2歳の乳幼児を中心にロタウイルスによる胃腸炎が増加するとされています。主な症状は嘔吐と下痢で、ノロウイルスによる胃腸炎に比べ重症度が高いといわれています。嘔吐や下痢により脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

[\(IASR Vol.35 p.63-64: 2014年3月号 ロタウイルス 2010～2013年\)](#) (国立感染症研究所)

◎感染性胃腸炎が多く発生しています。

石けんと流水でしっかりと手を洗うなど、感染予防と拡大防止に努めましょう。患者の嘔吐物や下痢便を処理する際には、自分が感染しないように、使い捨ての上着やマスク、手袋を着用しましょう。また、塩素系漂白剤などを使った消毒も併せて行いましょう。

通常重症化することはありませんが、小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

保健所別報告患者数 2014年 20週 (2014/05/12～2014/05/18)

2014年5月21日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	129	1.54	26	1.18	18	1.13	8	0.53	37	3.08	19	3.17	8	2.67	13	1.30
RSウイルス感染症	1	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
咽頭結膜熱	28	0.52	7	0.50	-	-	1	0.10	3	0.43	-	-	1	0.50	16	2.67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	66	1.22	28	2.00	21	1.91	3	0.30	1	0.14	-	-	2	1.00	11	1.83
感染性胃腸炎	635	11.76	178	12.71	147	13.36	97	9.70	38	5.43	72	18.00	33	16.50	70	11.67
水痘	28	0.52	14	1.00	9	0.82	2	0.20	1	0.14	-	-	-	-	2	0.33
手足口病	1	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	25	0.46	15	1.07	5	0.45	4	0.40	-	-	-	-	1	0.50	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	0.06	2	0.14	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	9	0.17	4	0.29	1	0.09	1	0.10	1	0.14	-	-	1	0.50	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	0.50	2	0.40	3	0.75	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	4	0.80	4	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2014年 20週 (2014/05/12～2014/05/18)

2014年5月21日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	129	1.54	26	1.18	18	1.13	8	0.53	37	3.08	19	3.17	8	2.67	13	1.30
咽頭結膜熱	28	0.52	7	0.50	-	-	1	0.10	3	0.43	-	-	1	0.50	16	2.67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	66	1.22	28	2.00	21	1.91	3	0.30	1	0.14	-	-	2	1.00	11	1.83
感染性胃腸炎	635	11.76	178	12.71	147	13.36	97	9.70	38	5.43	72	18.00	33	16.50	70	11.67
水痘	28	0.52	14	1.00	9	0.82	2	0.20	1	0.14	-	-	-	-	2	0.33
手足口病	1	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	0.06	2	0.14	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	9	0.17	4	0.29	1	0.09	1	0.10	1	0.14	-	-	1	0.50	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	0.50	2	0.40	3	0.75	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2 を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2014年 第20週 2014/05/12～2014/05/18)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	129	-	-	2	-	1	4	3	4	9	5	2	27	40	5	6	7	7	4	-	3

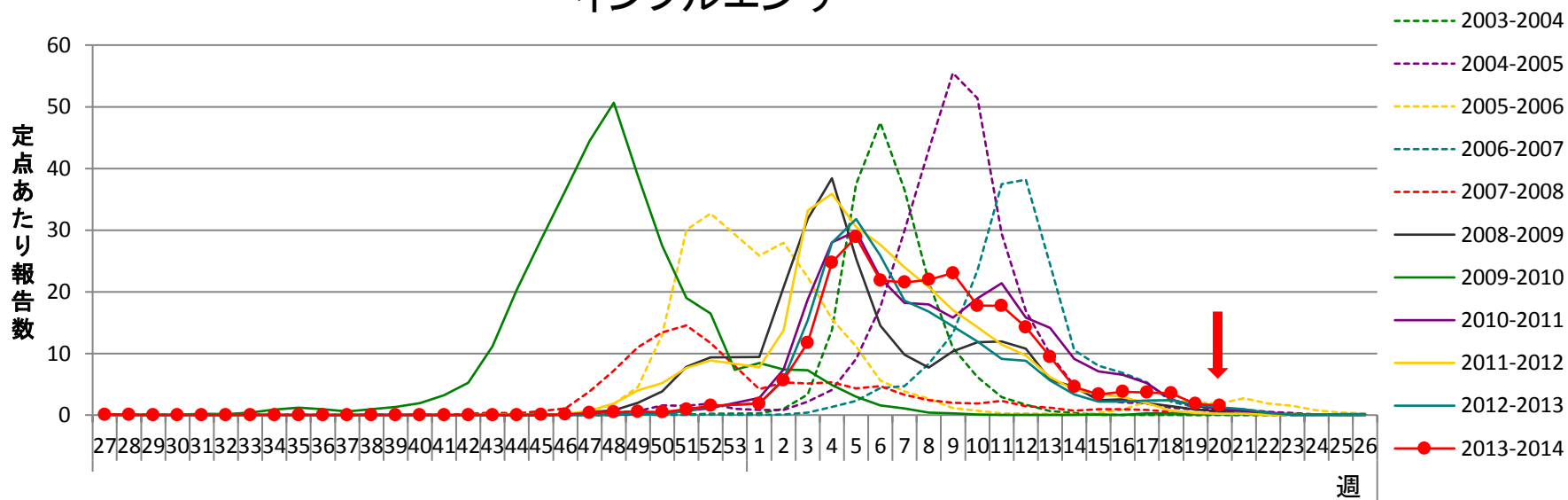
疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	28	-	5	7	3	-	4	3	3	-	1	-	1	-	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	66	-	-	1	4	9	6	9	6	7	8	4	9	1	2
感染性胃腸炎	635	11	57	68	51	63	70	55	25	38	22	23	70	8	74
水痘	28	1	3	6	3	1	3	1	7	1	-	-	1	-	1
手足口病	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	25	1	9	14	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
流行性耳下腺炎	9	-	-	-	1	1	1	1	-	2	1	-	2	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	1	1	-

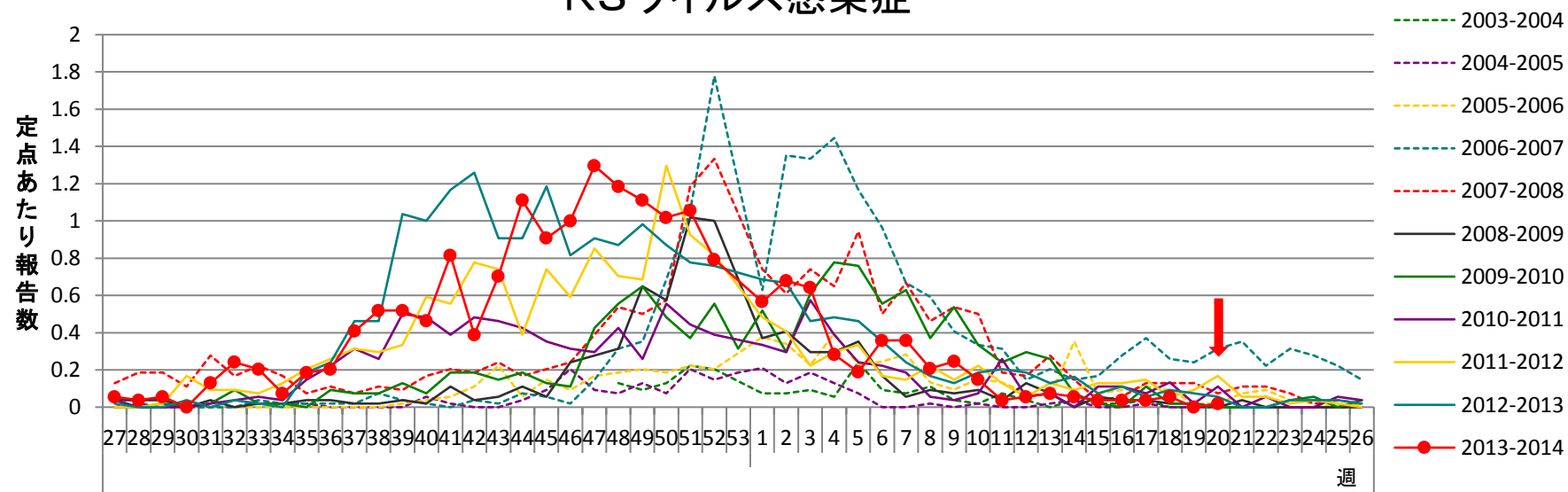
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	4	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

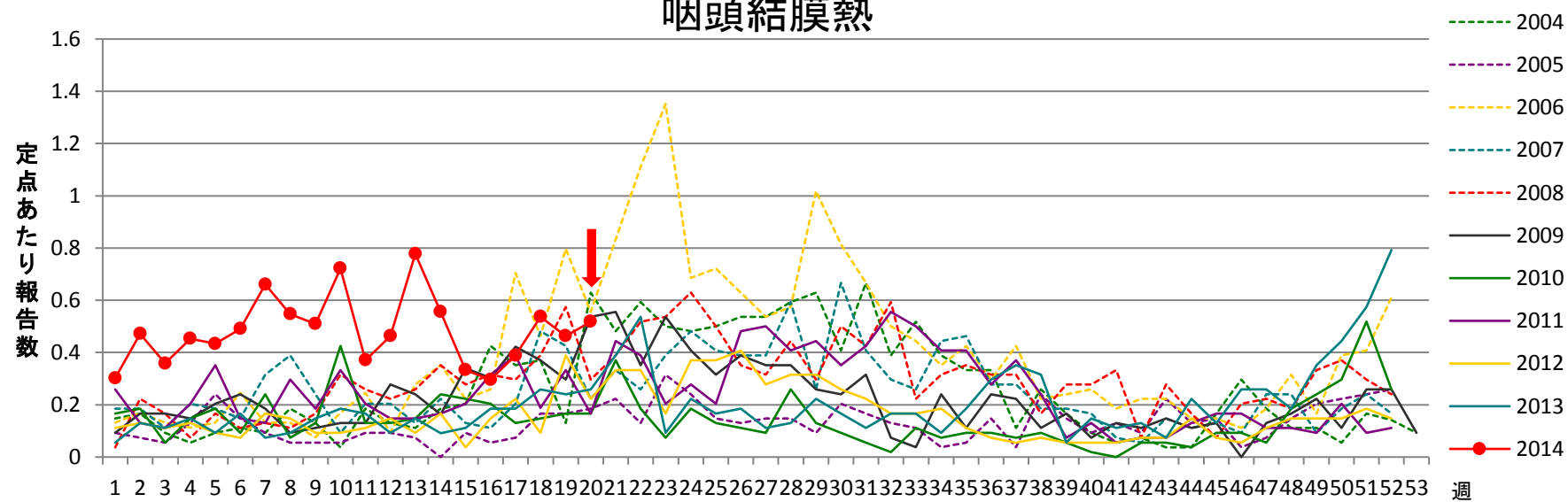
インフルエンザ



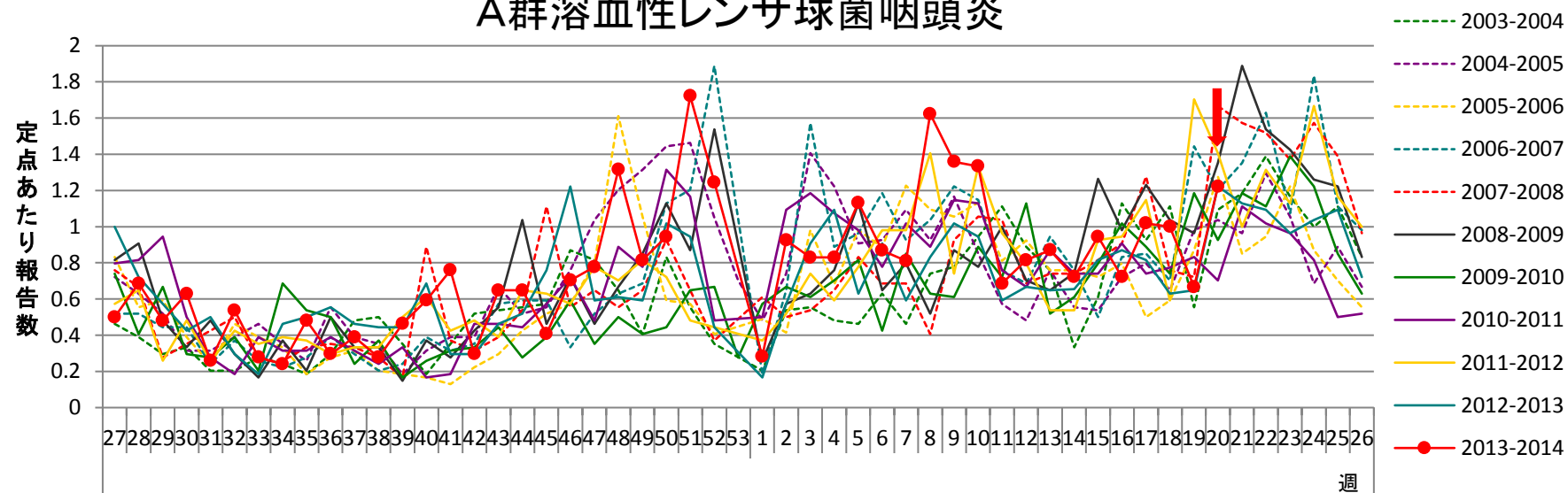
RSウイルス感染症



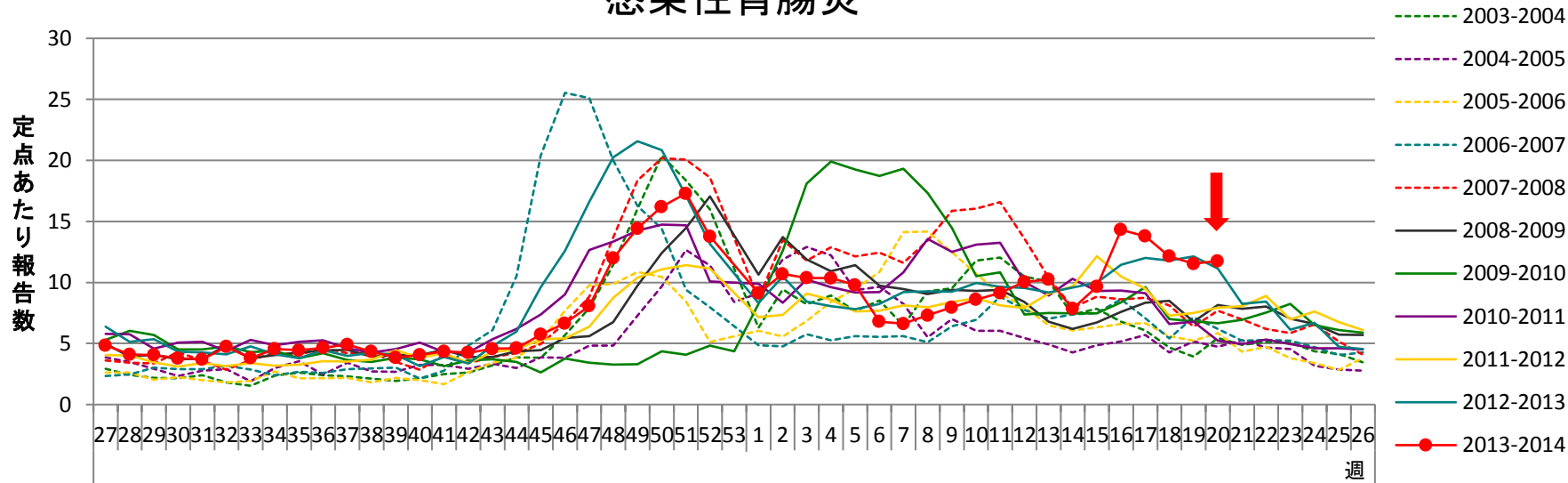
咽頭結膜熱



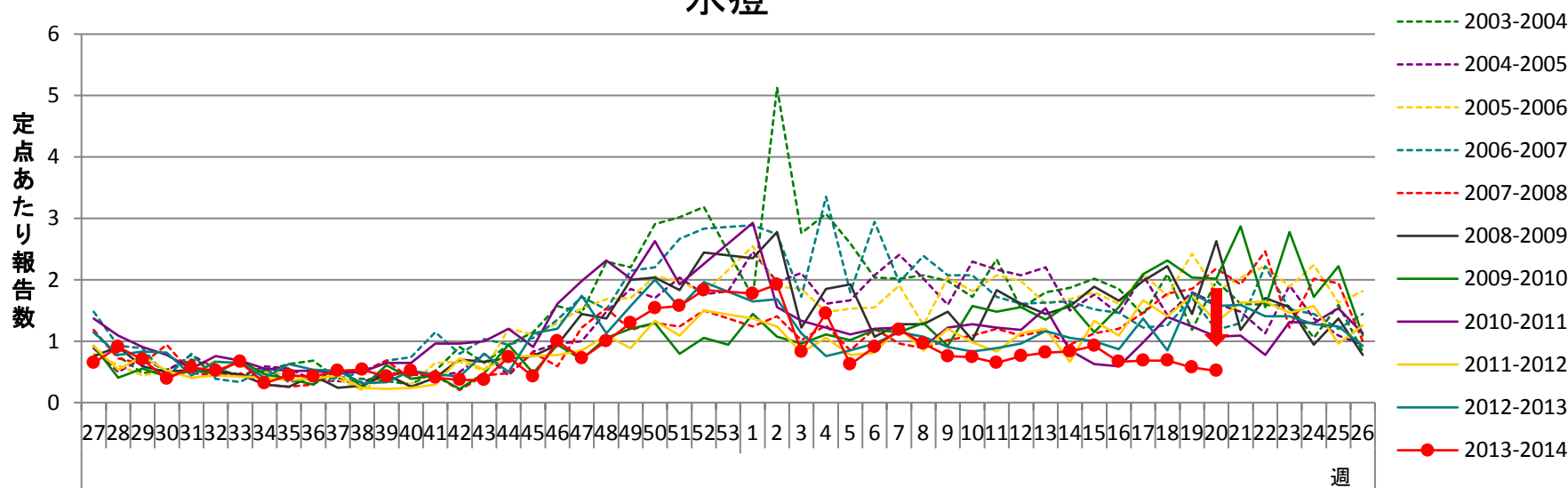
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



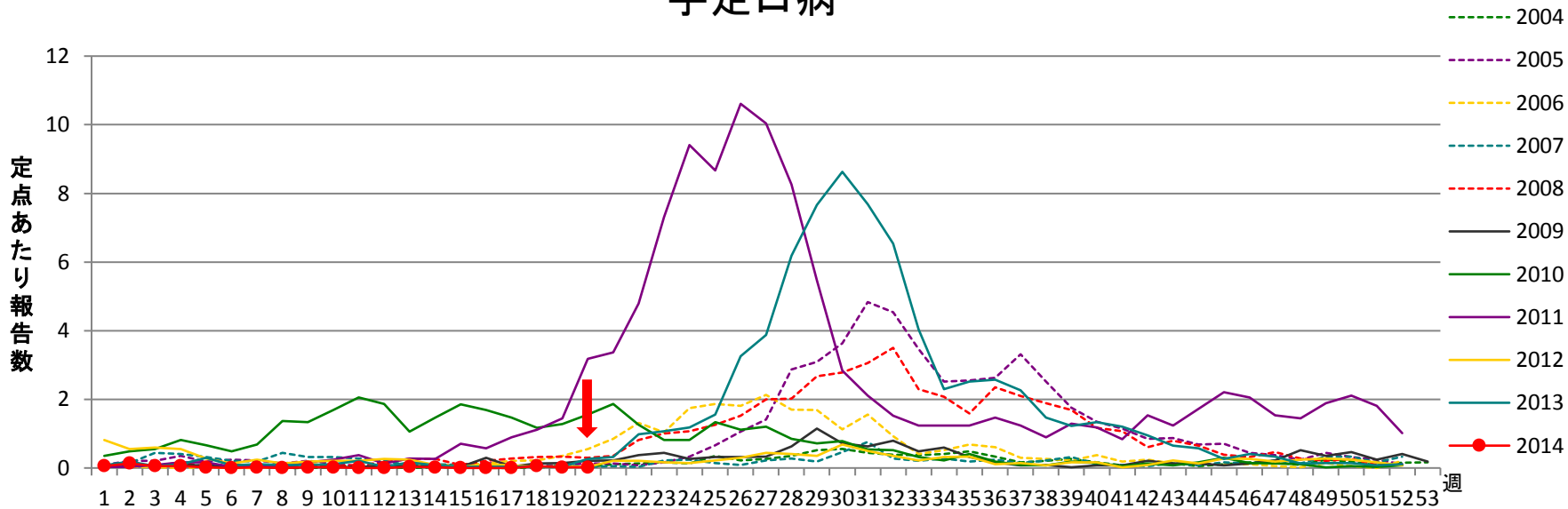
感染性胃腸炎



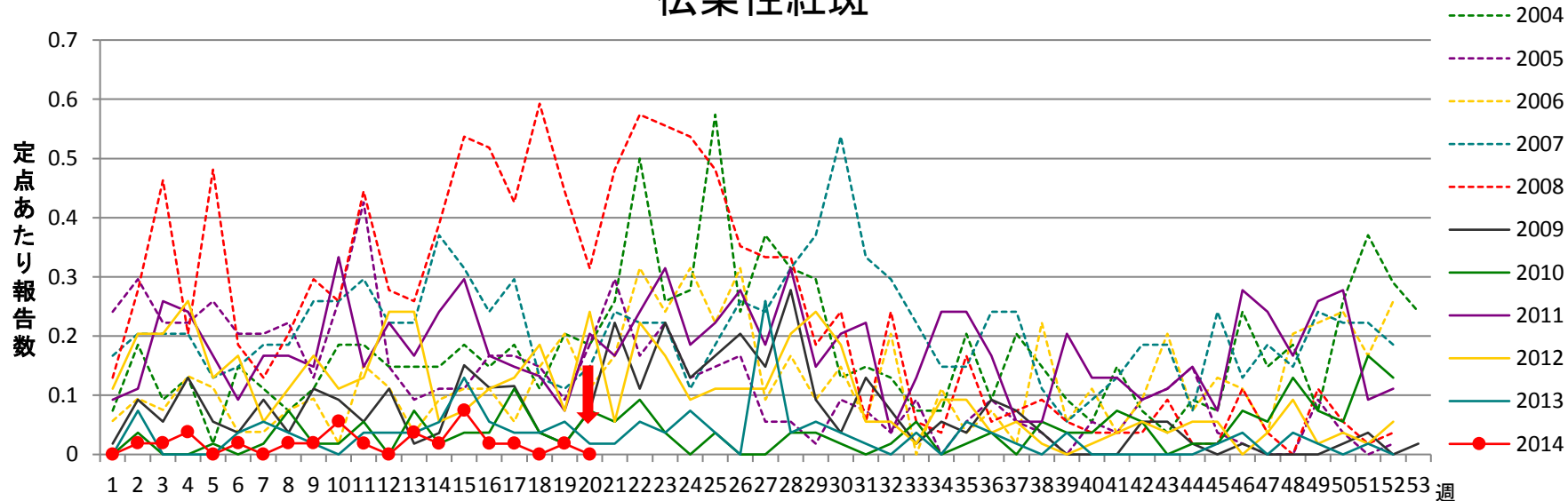
水痘



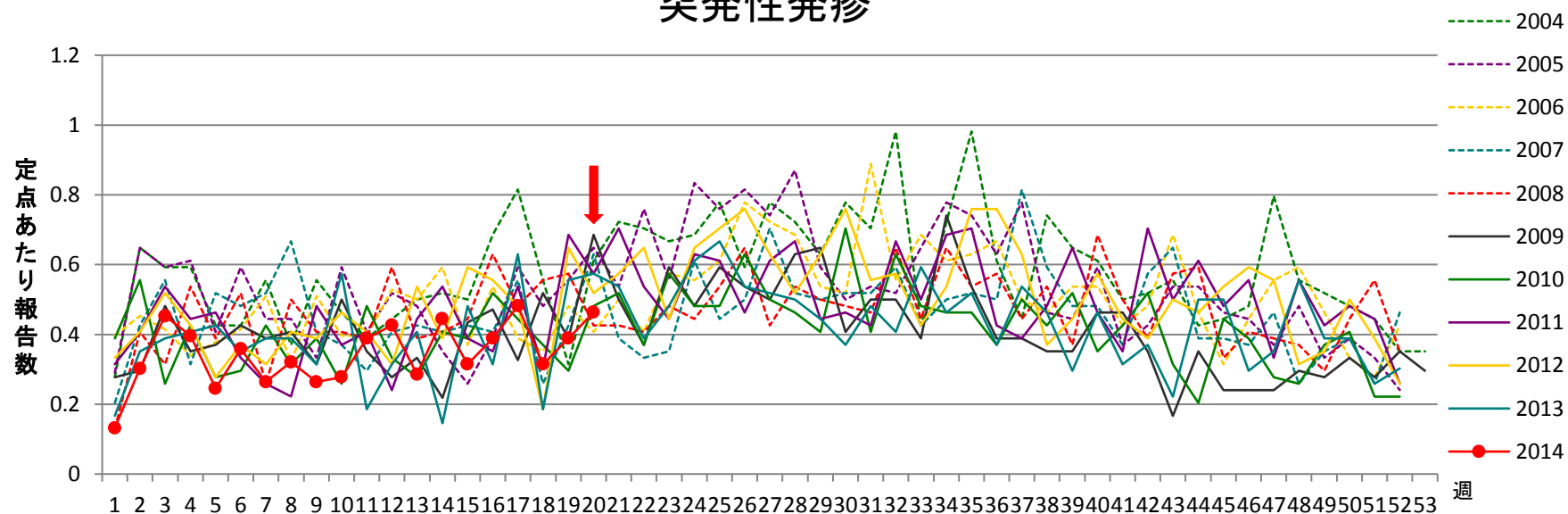
手足口病



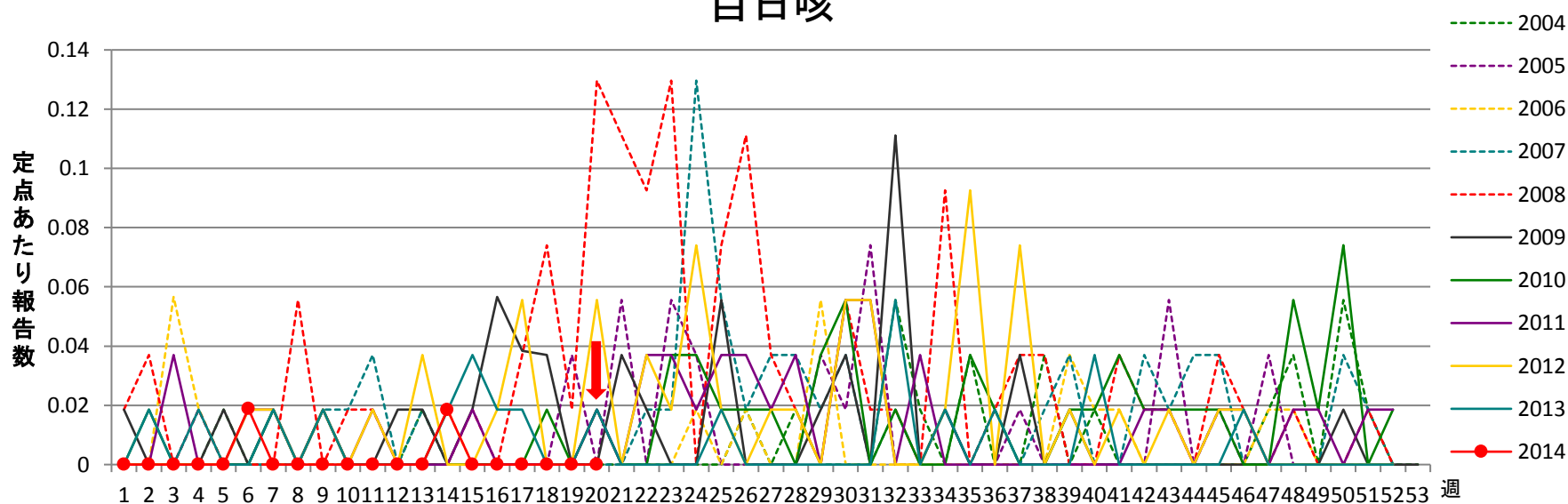
伝染性紅斑



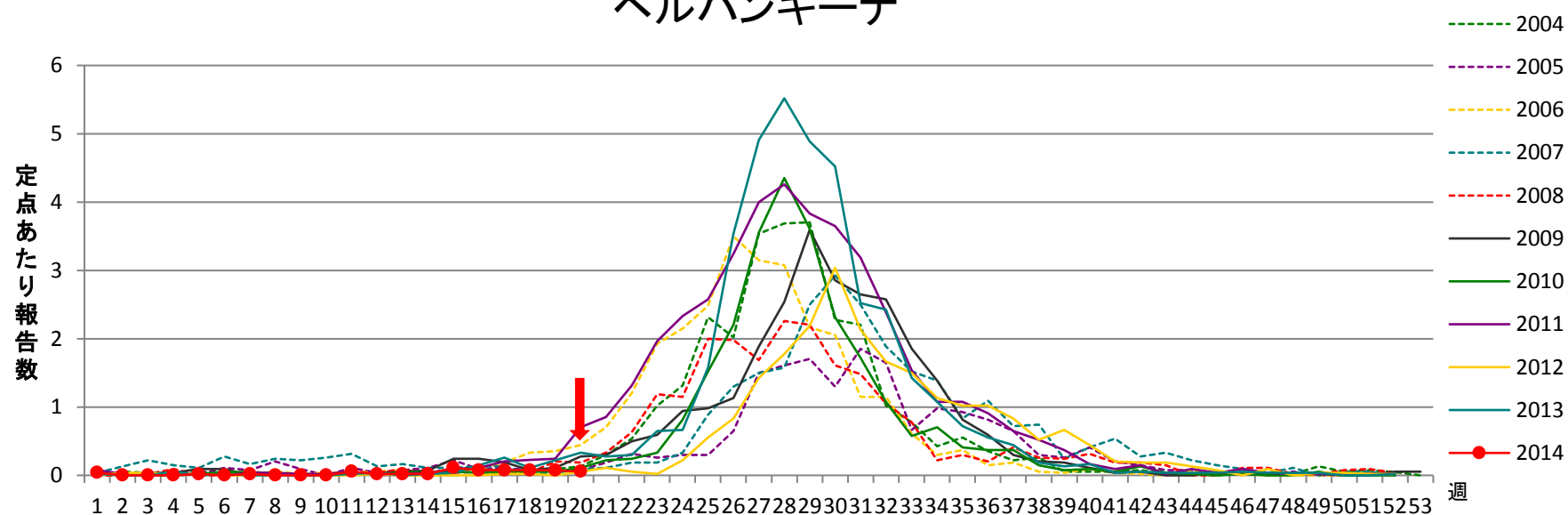
突発性発疹



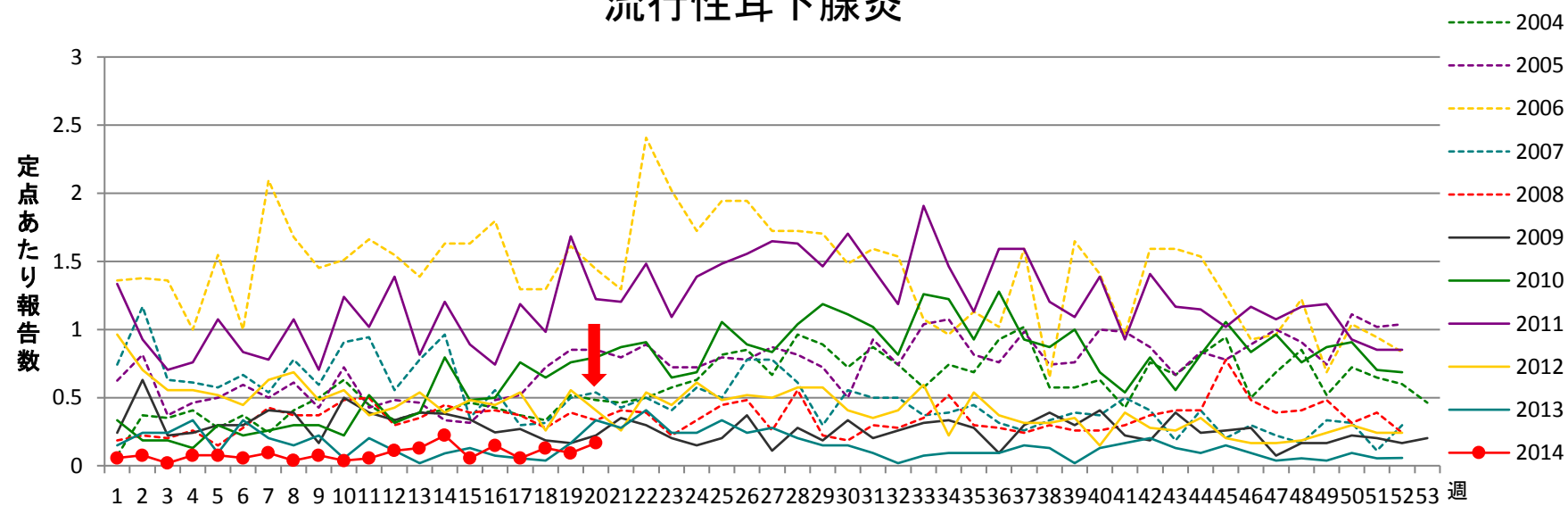
百日咳



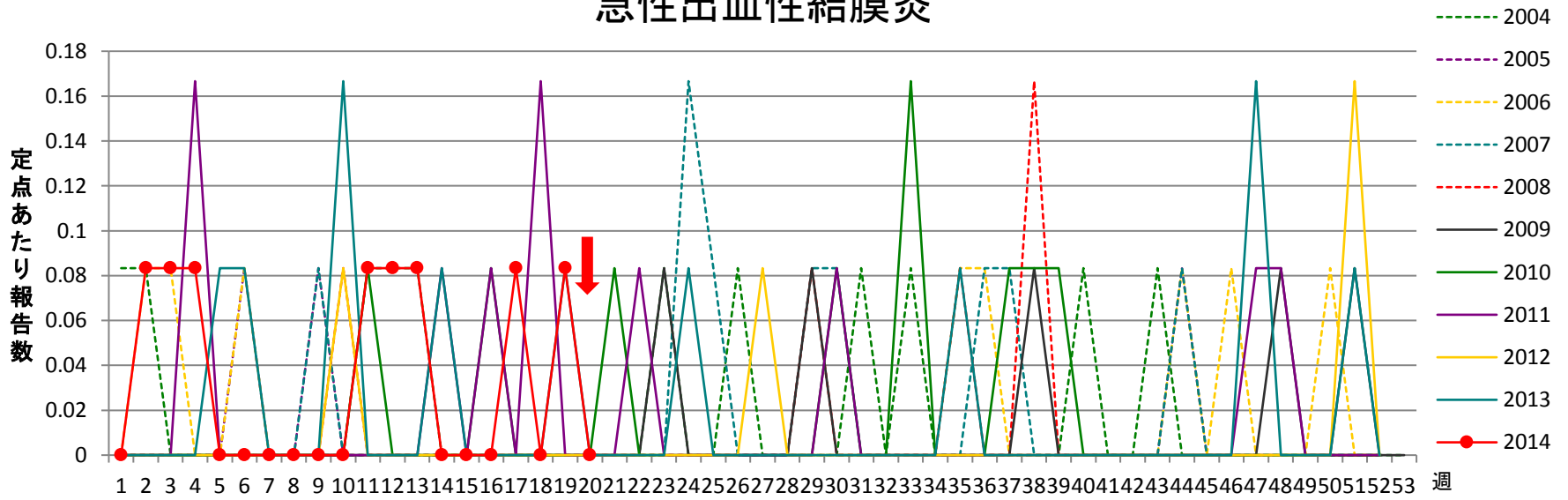
ヘルパンギーナ



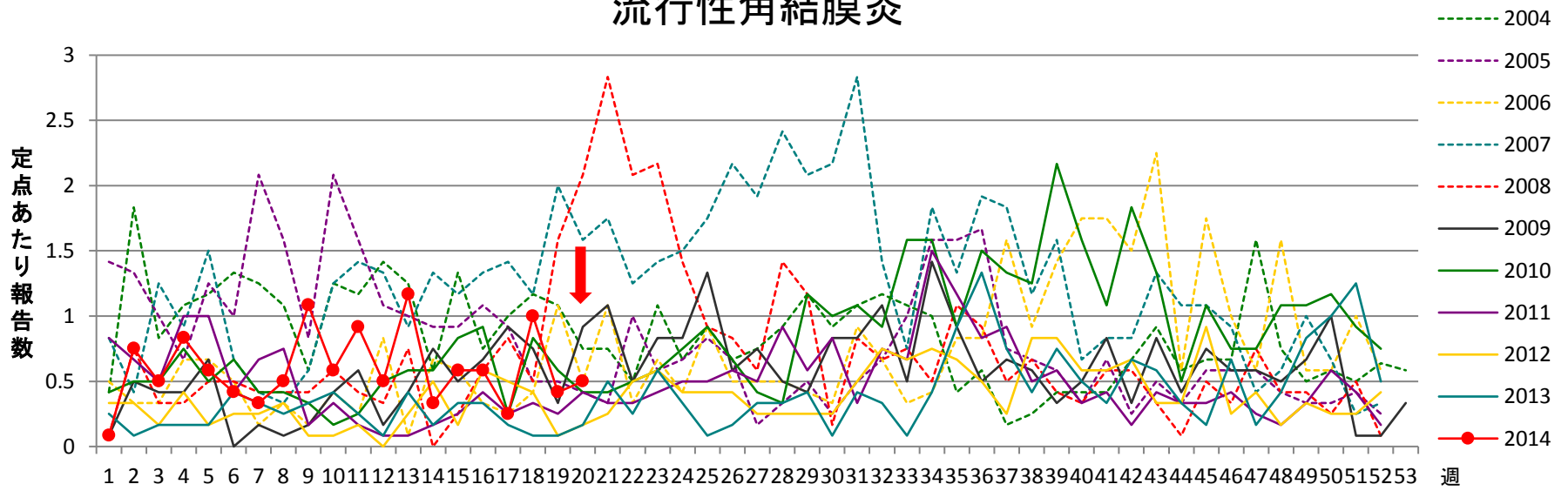
流行性耳下腺炎



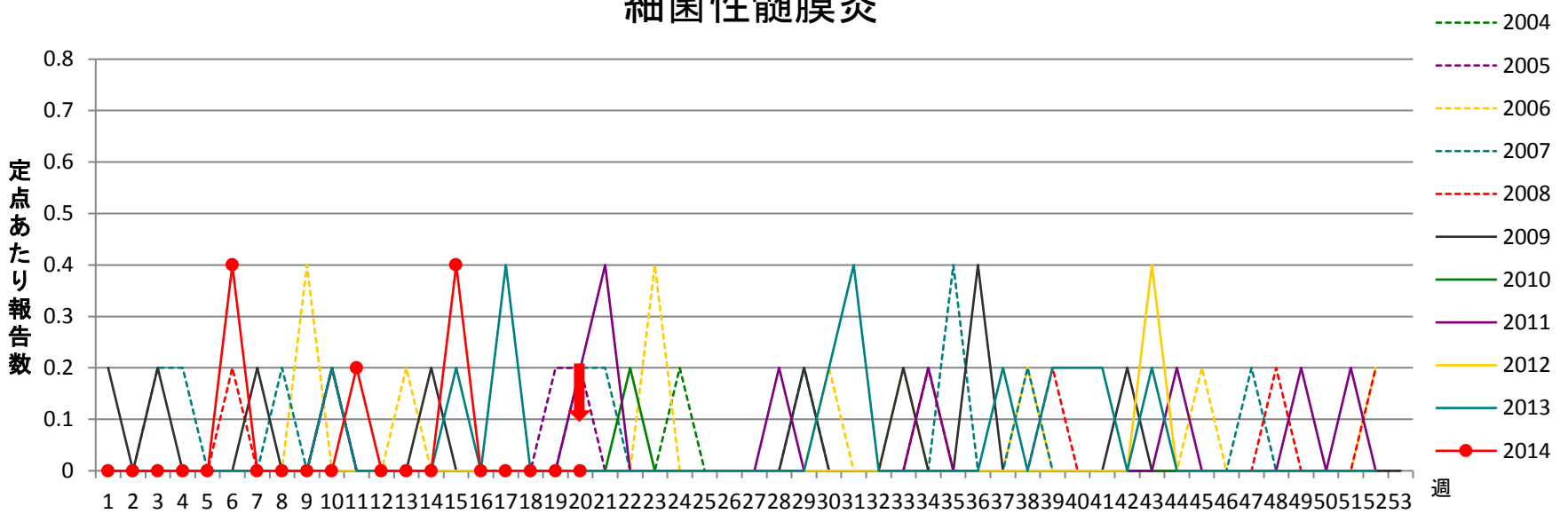
急性出血性結膜炎



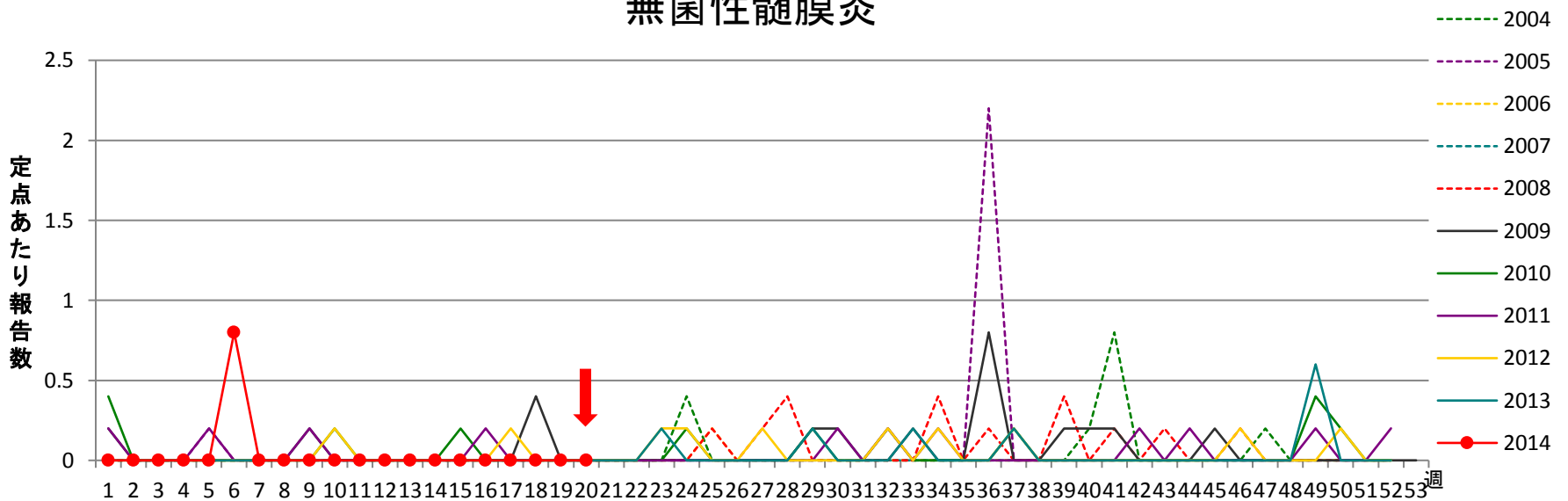
流行性角結膜炎



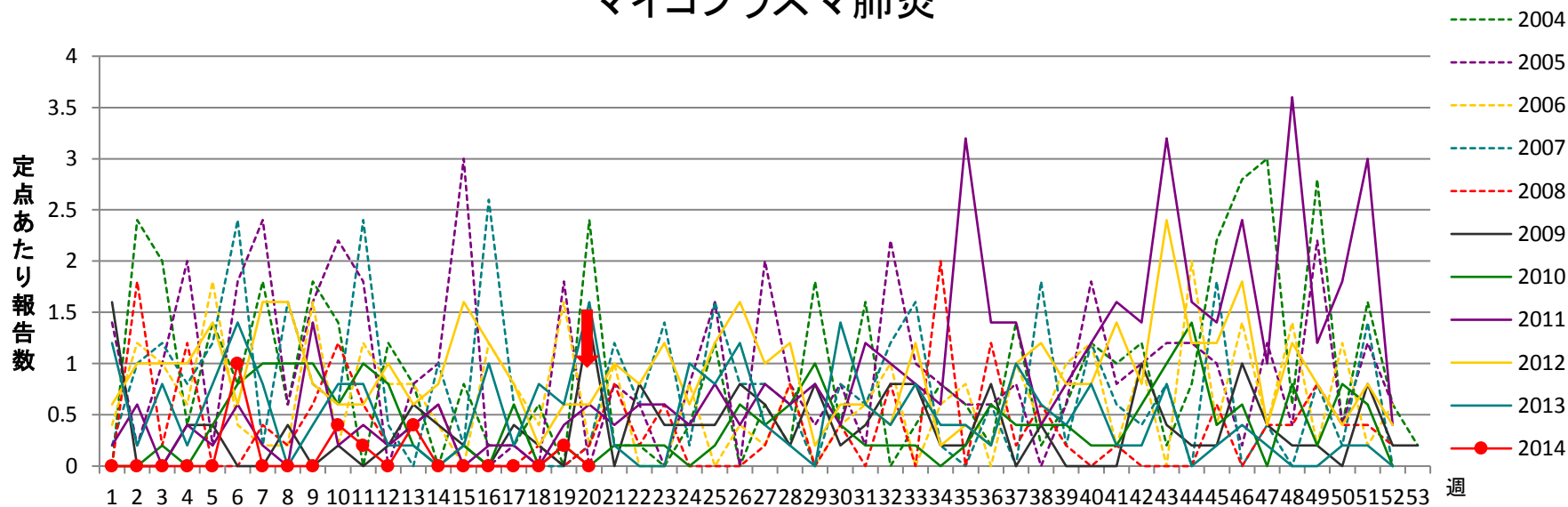
細菌性髄膜炎



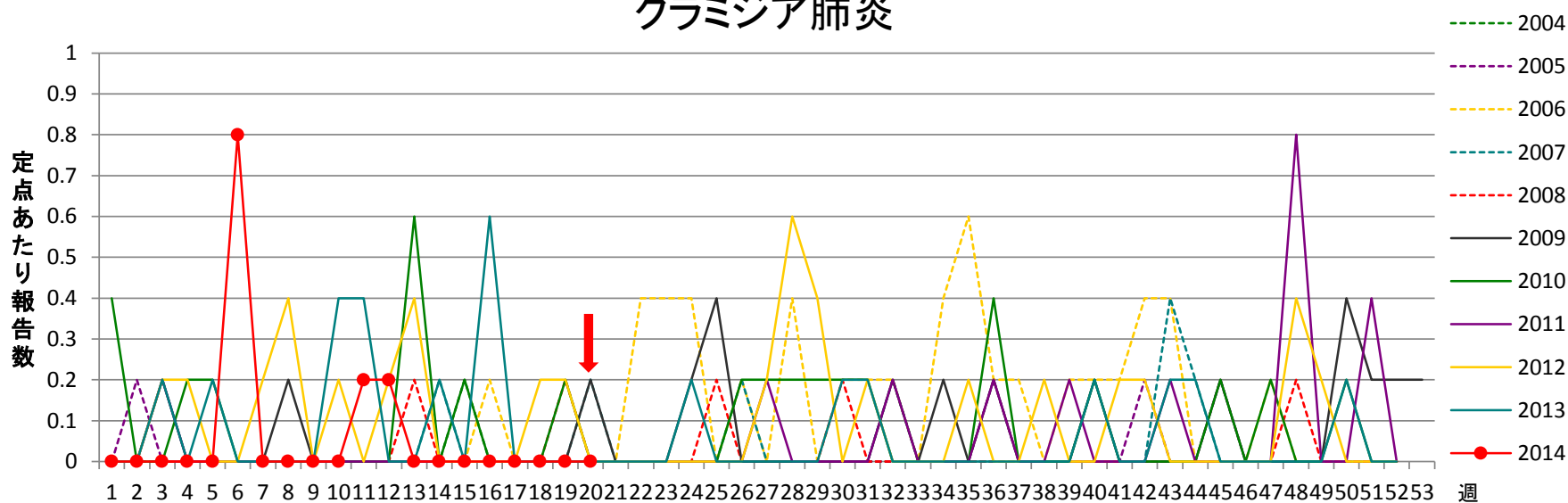
無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

